

photoshop でスタイル画を描く。

パターンの定義でテクスチャを作成する。

パターンの定義とは最小のパターンを作成し、パターンを連続的に展開する機能である。

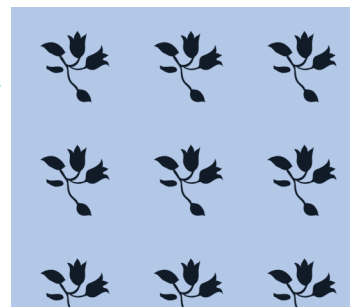
但し元の図案が単調な場合、右のパターンの様に展開した状態が

非常に柄癖のある並びになってしまう。

そこで連続的な柄に見えるパターンの作成方法について説明する。



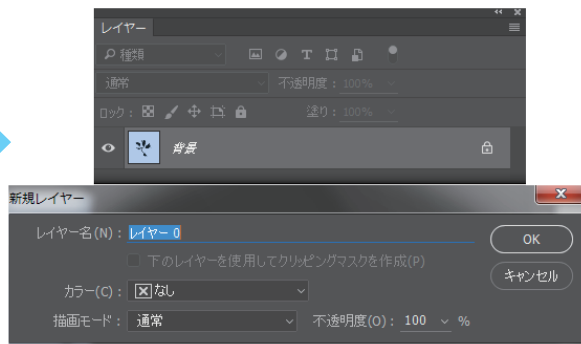
シンプルなレイアウト



展開したパターンも単調になる。



元になる図案はペンタブでフリーハンドで作成しておく。

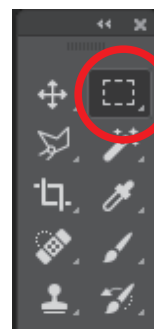


レイヤーパレットのレイヤー名は背景からレイヤー 0 に変更しておく。

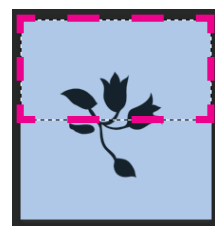
(背景と書いてある文字をダブルクリックすれば良い)

レイヤー名が背景の場合は案外出来ない作業が多い。

その時は必ず背景→レイヤー 0 への変更が必要となる。

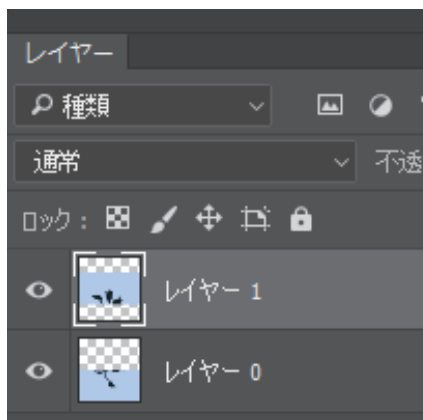


1. 長方形選択ツールでパターンの上半分を選択し、編集メニューからカットする。

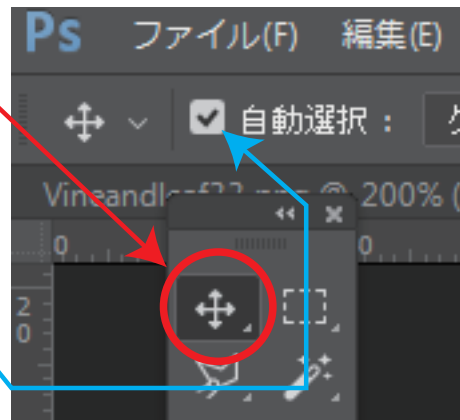


次に編集メニューからペーストする。

カットされた画像が貼り付きレイヤーが一枚増える。



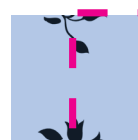
次に移動ツールを使ってレイヤーの上下の位置を入れ替えるのだが、Photoshop の場合レイヤーをいちいち選択しないと位置の移動ができない。そこで、自動選択にチェックを入れると移動ツールでクリックしたレイヤーを自動的に選択するようになる。



上下の位置を正確に入れ替えたならレイヤーメニュー下から3番目

表示レイヤーを結合を押す！

(画像を統合でも良いが、その場合再びレイヤー名が背景になるのでレイヤー名の変更を行わなくてはならない)



画像の右、若しくは左半分(どちらでも良い)を囲み先程と同様の作業を行う。

因みに編集からカットはキーボード **Ctrl+X**

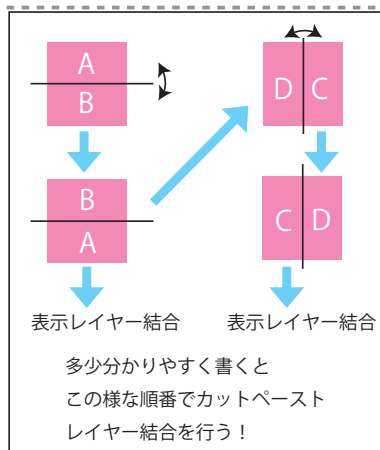
ペーストはキーボード **Ctrl+V** だ。

よく使うので覚えておこう！

(Mac は **command+c** **command+V**)



ペーストされた左右のレイヤーの位置を入れ替え表示レイヤーの結合を行う。



これで連続にした際に四隅が繋がった状態のパターンになっている。



ペンタブを使って中心に別のモチーフを描く。



レイヤーメニューから画像を統合し、更に長方形選択ツールで画像全体を選択して編集メニューからパターンを定義する。

新規で A4 サイズ若しくは A3 サイズのファイルを用意する。

この時ドキュメントの種類を日本標準用紙にしないと

A4 サイズを選ぶことは出来ない！

